

「けやき」No. 30

- ・ 6月 4日（水） / 第3回役員会
- ・ 7月 9日（水） / 第4回役員会
- ・ 7月 23日（水） / 宮城県各種女性団体連絡協議会 第58回宮城県女性大会 ※宮城県庁2階講堂
基調講演『人とのつながりと我が人生』/平賀ノブ氏
- ・ 9月 4日（水） / 第5回役員会
- ・ 9月 14日（日） / 秋の芸術鑑賞会【澁谷由美子・ヴァイオリン・リサイタル】
※宮城野区文化センターPaToNa ホール
- ・ 10月 22日（水） / 第6回役員会
- ・ 10月 30日（木） / 公開講演会『音楽と人生』講師・澁谷由美子会員 ※セミナーホール1・2
- ・ 11月 19日（水） / 第7回役員会
- ・ 12月 17日（水） / 第8回役員会



★2025

働いて働いて働いて働いて働いて働いて参ります



- ・ 1 月 21 日（水） / 第 9 回役員会
- ・ 2 月 11 日（水） / 【新年会】 11:30～14:30 ※特別会議室 ※会費/3,000 円（お弁当・飲物付）
お話・Y.R. 会員『私の戦後 80 年 大学女性協会との関わりの中で』

【発行に寄せて感謝を申し上げます】

■K. 会員/ ご生前の中村陽子会員のお優しいお人柄のお話と、素敵なお写真をご提供下さいました。

■A. 会員/ 黒澤会員がお寄せ下さいました原稿とお写真をお送り下さいました。 ■A. 会員/ 演奏会のプログラムをご紹介下さり、最新の会員名簿を作成して下さいました。 ■I. 会員/ 昨年秋の演劇鑑賞会のご感想に続き、今年も公開講演会のご感想をたっぷりお寄せ下さいました。 ■N. 会員/ 公開講演会の資料として河北新報掲載記事をご紹介して下さいました。 ■U. 会員/ 毎回『けやき』発行の経費管理をして下さいました。 ■他の役員・会員の皆様より/ 発行に寄せて色々なご意見・アドバイスを賜りました。 ～本当に有難うございました。どうぞ良いお年をお迎え下さいませ～

【 中村陽子さんを偲んで 】

● K.K.

● 今年の春にご逝去されました。

中村陽子さんとのご縁は、約 40 年前に夫の転勤で浦和から仙台に行きましたおり、大学の同窓会の仙台支部からお誘いをいただいて支部会員になってからで、長くご一緒させていただきました。

初めてご一緒するようになってから、中村さんの少女のようなエレガントな笑顔に魅せられた私が、いつもおそばにくっついていました。

長女の私は、沢山の優しいお姉様がたのなかに入れていただくのが本当に心地よくて、始終お仲間に入れていただいていた。待ち合わせの折など、” 陽子さ～ん” と呼ぶとすてきな笑顔で小さく手を振ってくださって、大好きな心温まる光景でした。

中村さんは、日本語のボランティアをなさったり、原田夏子先生の門下として文学や短歌の会で長くお勉強を続けていらっしゃいました。私は楽しいお喋りとおいしい物探しばかりにお誘いしていたので、もっと色々教えていただければよかったと今頃悔いております。

私が震災後仙台を離れましてからも、シルクの店は国分町にありましたので、店に行きました折には必ずお会いしていましたが、最近の 2 年ほどは中々携帯が繋がらず、” あ～あ又お会いできなかった” と残念な思いで入間に戻っておりました。

” 携帯が上手く使えないのよ” って言っていたので、お病気で入院していらっしゃるという想像もせず、その内気がついてくださると待っていました。

JAUW 理事の中山さんから中村陽子さんにご連絡が取れませんとお問い合わせを頂きビックリして姪御さんにご連絡をして、3 月 3 日に亡くなられたことを知りました。

震災さえなかったら、こんなに悲しいお別れを迎えることはなかったのにと、忙しがっていた自分を責めています。陽子さんのあの笑顔にもう一度お会いしたいです。

姪の澤田さんからお写真を託されました。

皆様のお心に陽子さんの最高の笑顔が残ることを願いつつ、ご冥福をお祈りいたしております。



【 2025 年度 秋の芸術鑑賞会 ～澁谷由美子ヴァイオリン・リサイタル～ 】

● A.C.

● 2025 年 9 月 14 日（日） / 宮城野区文化センターPaToNa ホール

毎年、皆さんが楽しみにしておられる秋の芸術鑑賞会。今年はちょうどその時期に、澁谷由美子会員のヴァイオリン・リサイタルが開催されるとのことで、皆さんで鑑賞させていただくことになりました。澁谷さんの計らいで、チケットやフライヤーにも「(一社) 大学女性協会仙台支部」の名前を入れていただきました。

当日は三連休の中日。ホールではさまざまな催しが行われており、駐車場は大混雑していました。車で向かった私もなかなか駐車スペースが見つからず、開演時間に間に合わないのではとハラハラしました。同じ状況の方が多かったようで、主催者のご厚意で開演時間を少し遅らせてくださるという神対応があり、おかげで無事に入場できました。

席に着くと、隣の若い方々が医師の方のようで、臨床研修について話しておられました。澁谷さんは多くのお弟子さんを育てておられ、その中には医学部に進学されるような方もいるとうかがっておりましたので、きっとこの方々もお弟子さんなのだろうと想像していました。そうしているうちに、舞台へ澁谷さんと、ピアノ伴奏の文京華さんが登場。澁谷さんの金銀泊の織物をあしらった白いジャケットは、和洋折衷の趣がありとても印象的でした。

演奏会のプログラムは以下のとおりです。

1. クライスラー：テンポ・ディ・メヌエット
2. ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調「春」 op. 24
3. ドヴォルザーク：4つのロマンティックな小品 op. 75
4. ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 二短調 op. 108

明るく格調高いクライスラーの曲で幕が開き、日本人にはおなじみのベートーヴェン「春」が続きました。そして、ドヴォルザークの甘美な響き。プログラムの解説によれば、第1曲のピアノがことのほか難しいのだそうです。最後のブラームスは非常にダイナミックで、ピアノも聴きごたえがありました。澁谷さんと文さんとの深い信頼関係が伝わってくるような演奏でした。

弦を正確に押さえる左手、弓を緻密にコントロールする右手。筋力・体力・運動の協調性、あらゆる要素がそろわなければ実現しない高度な演奏を、長時間にわたってやり遂げる一ヴァイオリニストという存在のすごさを改めて実感しました。どれほどの努力を積み重ねれば、ここまで到達できるのでしょうか。勇気と感動をいただいたひとときであり、澁谷さんの次のリサイタルが今から楽しみです。



Yumiko SHIBUYA

ヴァイオリン

文京華

澁谷 由美子

ヴァイオリンリサイタル

2025/9/14 日 13:30開演
14:00開演

宮城県文化センター
PaToNaホール

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番～長調「春」 op.24
ドヴォルザーク：4つのロマンティックな小品 op.75
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第3番ニ短調 op.108

チケット料金 生来自由 一般 3,000円 / 高校生以下 1,500円

お問い合わせ HAL PLANNING 022-262-1682 <https://www.hal-planning.com/>



文化

元仙台フィル コンサートマスター 澁谷由美子さん

若手からの助言ありがたい

14日・地元でリサイタル

仙台フィルハーモニー管 弦楽団のコンサートマスター 曲目は、ことし生誕150年を迎えるクライスラーの「デンボ・ディ・メヌエット」で始まり、ベートーヴェン「バイオリンソナタ第5番「春」、ドボルザーク「4つのロマンティックな小品」、ブラームス「バイオリンソナタ第3番」。

「私の世代で演奏会を開く人はまれでしょう。作品も弾くだけで精いっぱい。それでも演奏会に挑戦し、練習する姿を見せることは、若い世代の学びになる」と澁谷さん。演奏では「文

「コンクールの仕事は自分の演奏に生かされている」と語る 澁谷さん 河北新報社

さんのリードに助けられている」とほほ笑む。

今回のリサイタルに際し、かつての教え子で現在ケルン・ギルツェニ管弦楽団（ドイツ）第2バイオリン首席奏者の大江馨さん（仙台市出身）に演奏を見てもらい、助言を受けたという。「互いに気兼ねなく話せる。学ぶことは多かった。若い人に教わることは気にならない。何より最先端の演奏に触れられて勉強になった」

澁谷さんは1950年生まれ、福岡県出身。桐朋学園大、米ジュリアード音楽院で学んだ。81年～2002年、仙台フィルコンサートマスター。仙台国際音楽コンクール運営委員会副委員長などを務める。

午後2時開演。入場料は一般3000円、高校生以下1500円。電子チケット販売分は完売。連絡先はハルプランニング022-262-1682。

（佐藤孝子）

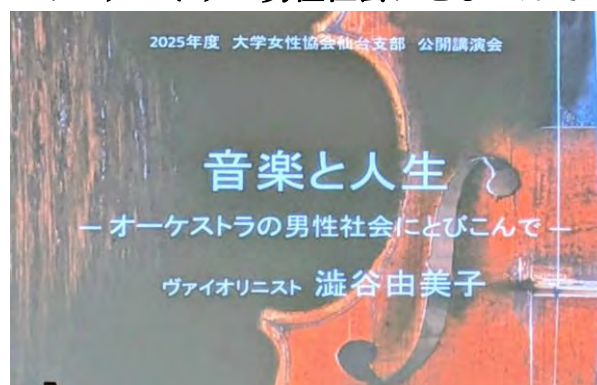
★N.N. 会員よりご提供頂きました。

【 2025 年度 公開講演会 ～音楽と人生～ / 講師・澁谷由美子会員 】

● I.A.

● 2025 年 10 月 30 日 (木) 13:30～15:00 / エル・パーク仙台セミナーホール 1・2

～オーケストラの男性社会にとびこんで～



気持ち良い秋晴れの午後、会員である澁谷由美子氏の講演が開催されました。お客様は会員を含めて 31 人。由美子さんの応援団が、まるでアイドルのコンサートのような手作りのキラキラ団扇を振って「せんせ～！！」と声援をあげる中登場し、思わず皆が笑顔になる和やかな雰囲気での講演が始まりました。



★会場から眺める秋の風景

★手作り団扇



★会場見守り

★多くのご来場者の受付準備

★右手前/I.A. 会員

由美子さんは筑豊炭田の飯塚市生まれ。五木寛之「青春の門」の舞台となったところです。元々はお母さまが習い始め、練習の邪魔をさせないために由美子さんにもヴァイオリンを持たせたら、めきめきと上達したので本格的に始めたとのこと。誠に幸運な出会いです。ご本人の才能と努力はもちろんのことですが、その道を支えて援助してくださるご家族に恵まれたことも、本当に幸運だったと思います。ご縁にも恵まれ、ヴァイオリニストの辻久子氏、斎藤秀雄氏、前橋汀子氏、（お話に登場した順）等々、ものすごい方々に師事されました。

初めての挫折は藝大附属音楽高校不合格。中学浪人して、桐朋高等学校～桐朋学園大学へ。小澤征爾、宮田大、古澤巖、反田恭平・・・枚挙にいとまがないほどの有名人を輩出している名門です。斎藤秀雄氏がおっしゃったとおり、藝大は由美子さんを落として損をしましたね。実力のある先輩・仲間たちとの交流、自由な雰囲気 학교がとても楽しく、「来て良かった」と思ったそうです。卒業後、新日フィルを断ってジュリアード音楽院へ留学。帰国後は仙台へ、そして宮城フィルハーモニーに入団。仙台フィルハーモニーでは首席奏者。現在も、仙台国際音楽コンクールの役員を務める等、精力的に活躍されています。

私が非常に感銘を受けたお話が幾つかありました。

- ① 高校3年間、「テクニックがない」と言われて、ひたすら基礎練習をくり返した。厳しかった。
- ② ジュリアードでは、週1で曲を仕上げなければならなく、練習してもしても追いつかないほどだった。
 - ・プロとしての基礎、レパートリーは、こうした若いうちからの徹底した訓練の上に成り立つものだという事を再認識しました。音楽する気持ちが豊かであっても、それを実現する器としての技術がないとどうしようもない。
- ③ オケで地方に行くと、「なんだ、コンマスが女か。」と偉い立場の人に言われることがあったが、別に言い返したりはしなかった。女で損をしたと思うことは一度もなく、むしろ得したなということだけ。
- ④ 「言いたい人には言わせておけ。」
 - ・芯の強い方です。お話しぶりからも分かる通り、明朗快活・明晰・率直・誠実・前向きなお人柄です。会員の皆様がそうなのですが、信頼できて優しくて・・・大人になってから他の業界でこんな方たちに出会ったことはありません。
- ⑤ 子育てとの両立のためにベビーシッターを雇い、時間調整等の綱渡り生活であった。あるシッターは、そのアルバイト代でグランドピアノを購入したくらいである。
 - ・由美子さん程ではありませんが、私も2人子育てをしながら演奏したり教えたりしていたので、その間のベビーシッター代はなかなかのもので・・・稼ぎはほとんどシッター代に、という感じ。「もう少ししたら楽になる！」と思いながら続けていたので、非常に共感してしまい頭をぶんぶん振りながら拝聴しました。



最後に、実際にヴァイオリンをお持ちいただいて、ボディ・弦・弓の材質・構造・お値段のざっくばらんな説明を聞き、また驚き！ 良い楽器はお値段も相当なのです。

エルガーの《愛の挨拶》は、彼の奥様への深い愛情の逸話と共に、由美子さんのヴィブラートの細部まで神経の行き届いた美しい音色が心に染み渡りました。

贅沢で豊かな時間はあっという間でしたが、日常の些事に追われる身がひととき癒され、新鮮な気持ちで帰宅しました。私の恩師が「音楽性は人間性」と怖いことをよくおっしゃっていましたが、まさにその通りと実感した今回の講演でした。ありがとうございました。



★生演奏を聴かせて頂いてうっとりする皆さん



★大盛況の講演会を終え皆さまをお送りして記念撮影★



★今年最後の役員会（12/17）



★今年も有難うございました。



★新年会のお話/V. 会員

【記事に関するお問い合わせ】 U. M. （書記）

仙台支部便り「けやき」No.30（2025年12月20日発行）発行/（一社）大学女性協会仙台支部